

Q1 印象に残っている言葉は？

A1

わくわくすること
を選ぼう

研究職を続けるかどうか悩んでいた時に、ポストの心配や研究業績のプレッシャーがあるかもしれないが、わくわくすることに挑戦するのが研究者として大切だと学生時代にお世話になった先生からアドバイスされました。時に悩みや苦労はありますが、根っこにある探究心が研究者を続けていく原動力になっています。

Q2 現在の研究テーマは？

A2 人工知能利用における
プライバシー保護や倫理

情報技術のここ数年の進歩は目覚ましく、便利になる一方で弊害も生じており、その対策技術の研究をしています。近年の人工知能技術には収集した行動履歴などのパーソナルデータを分析して利用するものが多くあります。パーソナルデータの利用に適切な技術やルールを用いないと、プライバシー侵害や望まれないプロファイリングが行われるリスクがあります。そのようなリスクに対処するために、匿名化などプライバシー保護技術や、プライバシー漏えいリスク評価技術を開発しています。また、人工知能の公正性などの倫理的課題にも取り組んでいます。

例えば人工知能が特定の人種や性別の人たちに不利益になるような意思決定をする可能性をどう捉えるか、そのような偏りを見つけて是正するにはどうしたらよ

さきがける 科学人

vol.91

安全な人工知能の 実現を目指して

理化学研究所 革新知能統合研究センター
研究員

荒井ひろみ

Hiroimi Arai

Profile

東京都出身。2010年 東京工業大学大学院総合理工学研究科単位取得退学。博士(理学)。理化学研究所特別研究員、東京大学情報基盤センター助教などを経て、17年より現職。同年よりさきがけ研究者。

いか、などを対象にしています。これらは比較的新しい分野なので、課題を議論、提案、解決していく面白さを特に感じます。

社会における技術のあり方に関わる上で、法学、哲学など人文・社会科学の研究者との共同研究にも力を入れています。異なる専門性を持つ研究者同士が議論することで新たな研究につながることもありますし、技術の進展により目まぐるしく世の中が変わる中で、社会をどうデザインしていくかという大きな課題に少しでも関われることにやりがいを感じています。

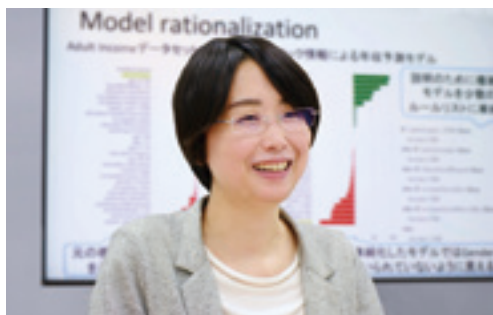
可能性に触れ、この分野に飛び込みました。自分の興味や可能性を限定せずに新しい課題に取り組むたび、困難はありますが楽しさもあり、自分の糧にもなっていきます。また研究仲間との議論に加え、日々の何気ない会話や観察から学ぶことも多いです。

研究者は体力も重要ですので、体力づくりも兼ねて時折ハイキングなどに行きます。自然に触れることで精神的にもリフレッシュできます。

Q3 研究者として大切にしていることは？

A3 何事も楽しみ自分の糧に

高校生の頃はなんとなく文系クラスにいたのですが、先生に紹介された数学の読み物をきっかけに転向し、大学では物理学を学び、その後人工知能の面白さと



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

70

古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

JSTnews

November 2019

発行日/令和元年11月12日

編集発行/国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)総務部広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3サイエンスプラザ

電話/03-5214-8404 FAX/03-5214-8432

E-mail/jstnews@jst.go.jp JSTnews/https://www.jst.go.jp/pr/jst-news/



最新号・バックナンバー